

様式第1号（第9条関係）

議会意見交換会実施報告書

開催日時	平成29年5月19日（金）午後7時～午後8時41分
開催場所	高月支所
参加市民数	43人
出席議員	<p>班長 柴田清行議長</p> <p>記録者 松本長治議員</p> <p>報告者 浅見信夫議員 吉田豊議員 轟保幸議員</p> <p>中川リョウ議員 藤井繁議員 石田節子議員</p> <p>出席議員 佐金利幸議員 鬼頭明男議員 森田義人議員</p> <p>浅見勝也議員</p>
実施内容報告	<p>意見交換会</p> <p><司会> 森田義人議員</p> <p>◇開会挨拶 柴田清行議長</p> <p>◇議員紹介 各議員自己紹介</p> <p>◇第1部 議会報告</p> <p>*平成29年度予算概要 浅見信夫議員</p> <p>*各常任委員会からの審査報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総務教育常任委員会 吉田豊議員 ・健康福祉常任委員会 轟保幸議員 ・産業建設常任委員会 中川リョウ議員 ・予算常任委員会 藤井繁議員 <p>*質疑応答（内容については別紙）</p> <p>◇第2部 テーマに基づく意見交換会</p> <p>*子ども・子育て支援について 石田節子議員</p> <p>*質疑応答（内容については別紙）</p> <p>◇閉会挨拶 浅見勝也議員</p>
要望・提言等	※別紙のとおり
その他特記事項	なし

議会意見交換会報告書

第1部 議会報告

(質疑応答)

問①

小中一貫教育について、委員会の中で4・3・2制度のために91,374千円の予算がついている。この制度と予算との関係を説明いただきたい。

答①

学年分けに絡むための予算ではなく、施設の改修費が予算の主な内容です。

問②

4・3・2制について、今後はその他の学校も教育長はその方向を思っているのか、長浜市としての市政のあり方をお聞きしたい。

答②

学年分けと今回の予算とは別の問題。小中一貫教育が必要であることを、市民の皆さんにわかりやすく説明することについて、進言していきます。

問③

北部地域総合体育館整備が進められているが、し尿処理設備はその時には廃止となるのか。

答③

北部地域総合体育館整備事業において、伊香衛生プラント（すでに廃止）の敷地を、駐車場として利用することで、プラントの撤去やその他について、湖北広域行政事務センターと長浜市が協議を重ねています。

問④

長浜の病院事業は非常に厳しいと聞く。湖北病院は、湖北地域、伊香地区において重要な医療機関であるが老朽化が進んでいる。このことについてどのようにとらえているか。

また、合併後の、湖北病院と長浜病院の医師の格差、待遇について改善されたのか。

答④

湖北病院の老朽化の対策として、いずれ新しく改修する計画となっています。

医師の待遇について、今現在は聞いていません。

※長浜市公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画（平成29年3月策定）では、平成32（2020）年度に、再度、修繕計画を見直す方向性となっています。

第2部 テーマに基づく意見交換会

問①

子育て事業の中で、しょうがいを持っておられるお子さんに対する事業、支援は。

答①

国県の負担金に加え、市としてもさまざまなしょうがいへの支援、窓口があります。日常生活への支援については、重度のしょうがい児に対する助成があります。

第3部 意見交換会

問①

議長として10か月の経験を活かし、残りの2ヶ月で何を行いたいのか。

答①

北から出ている議員ではあるが、合併後、長浜全体の育成を考えたい。また、病院も含め福祉の問題、特に経常赤字を縮小し、福祉を中心に上手くいくよう努力してまいりたい。

問②

これから長浜をよくする方法は何か。

答②

二元代表制の下、議員は市民の負託を受けている。市民の方々の手足となって働ける議員として、市民の声をしっかりと行政側へつなげてまいりたい。

問③

昨日の総務教育常任委員会で、議事進行上の問題で委員会が停滞する時間があった。議会の意思疎通ができていないのではないのか。

答③

長浜市議会の総意で、二元代表制として議員は、その原理をしっかりと行使してまいりたい。

問④

予算常任委員会について。

答④

予算議案を深く審議するために、予算常任委員会において、審査を行っています。まず各分科会でしっかりと審査しています。

問⑤

曳山ユネスコ登録記念公演の中で、費用 1,600 万円のうち予算が 700 万円。残り 900 万円が寄付となっているが、集まるのか。

答⑤

東京公演は、曳山文化協会が広くアピールするため企画しています。事業主体は曳山文化協会であり、実行委員会方式で取り組んでいます。市も支援するための予算であり、実行委員会では広くいろんなかたちで皆さんからご支援をいただいています。また、寄付は、ほぼいけそうであると聞いています。

問⑥

旧高月保育園の施設は森本にある。旧高月保育園については平成 27 年 2 月に多目的広場、屋外避難所としたく要望書を出した。その後解体、9 月に更地となり、その後教育委員会と話し合いを重ねたが、うまく進まない。要望書を出せば回答があつてしかりではないか。議会では資産について話がされているのか。

答⑥

森本の自治会の議論の上でそのような要望が出されたことは把握しています。長浜市の資産の活用について議論が始まっています。それに合わせもう一度森本自治会より要望を出していただきたい。市のホームページにも長浜市の財産についてどのようにしていくかなど計画が出されています。

問⑦

高月中学校の跡地活用の問題で、議会での質問に対する当局としての回答は、「地元の方のご意見を」との回答であったが、そろそろ何年も時間がたっているので結論を見出していきたい。議会としてもご協力をお願いしたい。

答⑦

基本的には皆さんのお力をお借りして、前向きに議論してまいりたい。

問⑧

防災無線のデジタル化について、現在落川ではアナログでの放送を行っているが、数年後、デジタル化となればアナログの放送が使えなくなるのか。完全デジタル化はいつか。アナログの機器を並行して支所においていただき、自治会の放送を使用できないか。完全デジタル化でアナログが使用できないのなら少数用の無線機器を斡旋していただけないか。市からの補助はいただけないか。今後、要望書を提出する。

答⑧

質問者の配慮の通り、お願いします。

問⑨

自治会補助金の限度額が同じであるのはなぜか、大きな自治会も小さな自治会も同じ
は納得できない。

答⑨

いろんな考え方がありますが、その一つとして、大きな自治会と小さな自治会では自
治の力が違います。大きな自治会から言えば腑に落ちないこともあると思います。逆
に、小さな自治会では一軒当たりにかかる自己負担の割合が高く、小さいところほど
補助金限度額の上積みを要望されることも多くなっています。見方によりさまざまで
すが、補助金の性格上限度額が同額となっています。